

資料2-1

長久手市文化の家自主事業報告書

(令和3年10月以降実施分)

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 2021ジョイントフェスティバル「おじさんと大きな木」

日時 令和3年10月17日（日） 11時00分開演

場所 長久手市文化の家 風のホール

事業の種類 鑑賞・体験事業(子ども)

出演者 劇団なんじゃもんじゃ

公演内容 おじさんと大きな木

入場者数 111 席設定 130 入場率 85.4%

チケット フレンズ会員・一般2,000円、小・中学生1,000円、未就学児500円※3歳以下ひざ上鑑賞無料（前売）
フレンズ会員・一般2,000円、小・中学生1,000円、未就学児500円※3歳以下ひざ上鑑賞無料（当日）

支 出	【委託費】	123,878円
	チラシ印刷費	20,248円
	計	144,126円

収 入	【入場料】	152,000円
	計	152,000円

回収率 105.5%

子どもが一生懸命に観ていた。小さい子を退屈させない仕掛けがされていて感心した。（市内、40代男性）

アンケート結果 きりかぶのところがすごい。（9歳以下女性）

すごく心の温まるお話だった。このような劇をみる機会が多くあると良いと思う。（市内、40代女性）

成 果

老舗劇団なんじゃもんじゃによる、子ども向けの作品。アンケートから、子どもは楽しめたのはもちろんのこと、子ども向けではあるが、様々な経験をしてきた大人にとっては、自分にとって本当に大切なものとは何かを再確認できた素晴らしい作品であったのではと考えられた。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	長久手わくわく歌舞伎トーク		
日時	令和3年10月23日（土）	10時30分 開演	
場所	長久手市文化の家 光のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	おくだ健太郎		
公演内容	『歌舞伎ソムリエ』によるトークショー		
入場者数	36	席設定 41	入場率 87.8%
チケット	一般1,000円、大学生以下500円（前売） 一般1,000円、大学生以下500円（当日）		
支出	【委託費】		70,000円
	チラシ印刷費		10,189円
	計		80,189円
収入	【入場料】		39,500円
	計		39,500円
回収率	56.4%		
アンケート結果	<p>大変興味深く良い公演だった。今後もこういったことを続けて欲しい。（市外、20代男性）</p> <p>久しぶりの、おくだ節、やっぱり楽しかった！題材の歌舞伎の三座も興味深く聞かせて頂いた。そしてプロ野球と例えていて、分かりやすかった。（市外、60代女性）</p> <p>歌舞伎をみたコトは無いが、楽しめた。Netflixで出ていた歌舞伎役者さんもステキだったので歌舞伎を見に行っ て会場の雰囲気とかも楽しみたいと思った。（市内、20代女性）</p>		
担当者 コメント	<p>全国各地で歌舞伎講座の講師を務める歌舞伎ソムリエ、おくだ健太郎氏による歌舞伎トーク。初心者には、歌舞伎の魅力に触れ、興味をもつきっかけとなった。歌舞伎を良く知っている人にとっては、裏話を知ること、さらなる魅力を開拓できたのではと思われる。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名	文化と地域デザイン講座～長久手市編～		
日 時	令和3年11月5日(金)	18時30分 開演	
場 所	長久手市文化の家 光のホール		
事業の種類	アートのまち創造事業		
出演者	松本茂章 (聞き手・コーディネーター) 平竹耕三 (ゲスト)		
公演内容	<p>観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等の幅広い各分野との横断的な文化芸術の施策を紹介するとともに、専門家や先進地である自治体からゲストを招く講座シリーズの2回目。</p> <p>テーマ：公立文化施設が「まち」を変える／京都会館からロームシアター京都へ ゲスト：平竹耕三（京都産業大学教授、KYOTO STEAM-世界文化交流祭-プロデューサー）</p>		
入場者数	来場：18 オンラインライブ 視聴：50	席設定	40
支 出	【委託費】		100,000円
	計		100,000円
収 入	【入場料】		無料公演のため入場料収入なし
	計		0円
回 収 率			0.0%
アンケート結果	<p>私自身も某市職員ですが、条例改正も厭わず理想の運営形態を追求していかれたところにあためて感銘を受けた。豊かな文化の実現のためにはそうでなければならない。（50代・女性 オンライン・新潟市）</p> <p>観光を中心に考えるか、地域での在り方を中心に考えるかで建物自体の役割やつくりが変化することが面白いと感じた。（20代・女性 オンライン・京都市）</p>		
成 果	<p>文化施設（劇場）改修にあたり、市民や地域企業との関わりや文化施設としての地域への開き方を変えることで、まちを変える文化施設になることを発信した。今回も前回に引き続き、オンライン配信を実施した。宮城県から熊本県まで県外各所から約140名の申し込みがあり、文化の家の周知にも繋がった。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名	ムーンライトスウィングオーケストラ～不滅のグレンミラーサウンド		
日 時	令和3年11月5日（金）	14時00分 開演	
場 所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業(提携)		
出演者	ムーンライトスウィングオーケストラ		
公演内容	インザムード、ムーンライトセレナーデ、茶色の小瓶、真珠の首飾り、シング・シング・シング ほか		
入 場 者 数	149	席設定 150	入場率 96.8%
チケッ	2,500円		
支 出	【委託費】	提携事業のため収支なし	
	計	0円	
収 入	【入場料】	提携事業のため収支なし	
	計	0円	
アンケート結果	<p>スウィングジャズの生演奏を聴いた事がなかったのでとても興味深かった。若い演奏家の方もいて、古きの中に新しさも感じた。（10代、住所・性別不明）</p> <p>全曲よかったけれどテネシーワルツは泣けた。（市内、年代・性別不明）</p> <p>若い頃良く聞いた曲ばかりで若がえったような気がした。また聞きたいと思った。（市内、年代・性別不明）</p>		
担当者コメント	<p>昨年度開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、延期となった公演。ビッグバンド公演は、文化の家では取り上げることが少ないため、選定された。平日開催、懐かしいグレンミラープログラムということもあり、中高年層の来場者が多く、満席に近い人気となった。2部ではヴォーカルも加わり、明るく昔懐かしいサウンドに、当時を思い出した！という声が多く聞かれた。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	令和3年度提携事業長久手フィルハーモニー管弦楽団 第33回定期演奏会		
日時	令和3年11月14日（日）	14時30分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業（提携）		
出演者	長久手フィルハーモニー管弦楽団 指揮：高谷光信		
公演内容	「魔笛」より序曲（モーツァルト） 交響曲第7番ロ短調「未完成」（シューベルト） 交響曲第7番イ長調（ベートーヴェン）		
入場者数	404	席設定 416	入場率 96.2%
チケット	(前売) フレンズ会員700円、一般800円 (当日) 一般1,000円		
支出		【委託費】	提携事業のため支出なし
		計	0円
収入		【入場料】	提携事業のため収入なし
		計	0円
アンケート結果	<p>とても感動した。休日の昼の一時を楽しく過ごすことができ「音楽の力」で明日の生命力ももらった。(市外、70代男性)</p> <p>ベートーヴェンの交響曲の中で一番好きな「7番」を生演奏で聴けてとても感動した。コロナ禍が長期化で沈みがちな気持ちを明るく活気づけてくれる曲だと思う。改めて名曲だと思った。(市内、70代男性)</p> <p>長久手という小都市で33回も、かくも素晴らしいオーケストラを継続し続けるエネルギーに賛美！これからも、このオーケストラの発展を心から応援。(市外、85歳男性)</p>		
担当者コメント	<p>年に2回定期公演を行う長久手フィルハーモニー管弦楽団。新型コロナウイルス拡大に伴い、昨年度は一度も開催できず、2年ぶりの開催となった。練習場所も限られたため、久しぶりのホール公演で、リハーサルでは音の響き方に戸惑う団員の姿も多々見られたが、指揮者の指導もあり本番では熱い演奏が行われ、特にベートーヴェンの交響曲第7番などは、馴染みのある曲だけに、観客も満足しているようであった。</p>		



長久手市文化の家 自主事業報告書

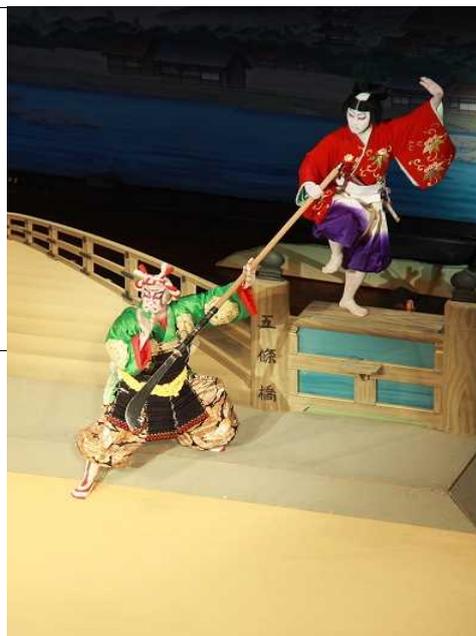
公演名	創造スタッフ劇場 少女とカラクリ		
日時	令和3年11月20日（土）	①11時00分開演	②14時00分開演
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	創造スタッフ 弓立翔哉（パーカッション）、小田智之（ピアノ、作曲）、大脇ばんだ（演劇）、林友里菜（コンテンポラリーダンス）、小林大地（造形・デザイン）、小西祐矢（造形・デザイン）		
公演内容	音楽・演劇・ダンスを合わせた音楽劇 創造スタッフ オリジナル曲、オリジナル台本		
入場者数	332	席設定 400	入場率 81.8%
チケット料金	（前売）フレンズ会員・一般500円 （当日）フレンズ会員・一般500円		
支出	チラシ印刷費		16,102円
	消耗品費(衣装代)		17,644円
	計		16,102円
収入	入場料		78,000円
	計		78,000円
回収率			484.4%
アンケート結果	<p>コロナ禍であまり出かけられなかったので生の音楽やダンスに触れるよい機会になった。（市内30代女性）</p> <p>完成度が高く質の良い公演で、となりの子どもたちが踊っている姿に納得する内容だった。（60代男性）</p> <p>想像していたよりも何倍も良い舞台で、小さい子供の観劇デビューには申し分ない内容だった。（市内30代女性）</p>		
担当者コメント	<p>創造スタッフがジャンルを越えて制作する大人気企画「創造スタッフ冬のコンサート」を「創造スタッフ劇場」と名前を変えて通常より1ヶ月早い11月に実施。小西祐矢が原作を書き、小田智之作曲の完全オリジナル曲と林友里菜の振り付けするダンスなど、新しく加わった3名の創造スタッフが活躍した。毎年“0歳から参加OK”を売りにしていたが、今年の内容は少し難しかったため推奨年齢4歳以上として実施。その効果もあって例年より年齢層が上がり、新しい客層にもアプローチできた。コロナ禍で生の舞台を鑑賞する機会が少ない中、子どもたちに良質な舞台を提供する機会となった。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	あいちオーケストラフェスティバル2021愛知室内オーケストラ		
日時	令和3年11月21日（日）	15時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業（提携）		
出演者	愛知室内オーケストラ 指揮：碓山隆一郎 ソリスト：石川貴憲（サクソフォン）		
公演内容	弦楽のためのアダージョ（バーバー） アルト・サクソフォンと管弦楽のためのバラード（トマジ） クープランの墓（ラヴェル） 交響曲第4番変ロ長調作品60（ベートーヴェン）		
入場者数	306	席設定 331	入場率 91.3%
チケット	（前売）1,000円 （当日）1,000円		
支出	【委託費】		提携事業のため支出なし
	計		0円
収入	【入場料】		提携事業のため入場料収入なし
	【運営協力費】		250,000円
	計		250,000円
回収率	0.0%		
アンケート結果	<p>作曲家トマジ、初めて聴いた。物語性をもっているという解説を読む前に映像が浮かんできて、オーケストラのバックでスクリーンがあるように楽しく聴けた。（市内、60代女性）</p> <p>生演奏の魅力に誘われて。レコード、CDから聴く音がそのまま聴くことが出来て久しぶりの味わうことができた。（市内、80代以上男性）</p> <p>バリバリ演奏中に音が出るブラ袋は良くない。柔らかい材質にすべき。（市外、50代男性）</p>		
担当者コメント	<p>ジャパンエールプロジェクトの一環として、昨年、新型コロナウイルスの感染拡大により活動自粛を余儀なくされた文化芸術関係者の力を合わせ、文化芸術への関心と熱意を取り戻すためのイベント「あいちオーケストラフェスティバル2021」。愛知県内の全プロ・オーケストラによる県内各地での連続公演を低価格で開催するという、これまでにない演奏会となった。長久手公演では、文化の家で定期演奏会や子ども向けイベントなど数多く開催し、県芸大卒業のメンバーも多く、文化の家と縁の深い愛知室内オーケストラと、文化の家フランチャイズアーティストとしても活動するサクソフォン奏者石川貴憲による協奏曲を演奏するなど、地元の特化したプログラムを用意した。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	前進座 創作歌舞伎『牛若丸』		
日時	令和3年11月27日（土）	14時00分開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	松浪喜八郎他		
公演内容	前進座公演『牛若丸』併演歌舞伎の楽しさ		
入場者数	席設定 300		
チケット	(前売) フレンズ会員3,000円、一般3,500円、子ども（4歳～高校生）1,300円、親子券4,500円 (当日) フレンズ会員・一般3,500円、子ども（4歳～高校生）1,300円、親子券4,500円		
支出	【委託費】	2,971,050円	
	チラシ印刷費	33,170円	
	パンフレット印刷費	11,605円	
	計	3,015,825円	
収入	【入場料】	722,500円	
	計	722,500円	
回収率	24.3%		
アンケート結果	とてもよかった。かぶきはマジシャン、イルージョンみたい！！はくりょくがあった！！バエやきめつなどおもしろかった。（10代男性） 最初に解説があり、歌舞伎の世界がわかりやすく感じた。歌舞伎は初めてだったが、来てよかったです。（女性/30代） 地域の文化施設で前進座の歌舞伎が観れるなんて感激！（60代女性） 未就学児可の歌舞伎公演は珍しく、貴重な機会だった。子どもも楽しんでた。先の長いお客になると良いと思う。（40代男性）		
担当者コメント	2020年2月にコロナウイルスの影響で公演2日前に中止となってから約21ヶ月越しの開催。演者やスタッフ、さらには観客の皆様が待ち望んでいた瞬間が訪れた。前半の「歌舞伎の楽しさ」では敷居が高いと感じやすい歌舞伎の世界に入りやすい環境を整え、後半の「牛若丸」で本格的な歌舞伎を魅せる。子どもから大人まで楽しめた、素晴らしい公演となった。		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	ダニエル・ハリトーノフ ピアノ・リサイタル2021 ドイツ・ピアノイズムの巨匠～ロマン派3つのソナタ～		
日時	令和3年11月28日（日）	15時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業（提携）		
出演者	ダニエル・ハリトーノフ		
公演内容	ピアノ・ソナタ第8番 ハ短調 作品13「悲愴」/ベートーヴェン ピアノ・ソナタ第17番 二短調 作品31-2「テンペスト」/ベートーヴェン 2つのラブソディ 作品79/ブラームス ピアノ・ソナタ第1番 ハ長調 作品1/ブラームス		
入場者数	140	席設定 596	入場率 23.3%
チケット	（前売）フレンズ会員4,200円、一般4,500円 （当日）一般4,500円		
支出		【委託費】	提携事業のため支出なし
		計	0円
収入		【入場料】	提携事業のため収入なし
		計	0円
回収率			
アンケート結果	インスタグラムの写真も楽しめた。本人の演奏の感想も後日読めるとうれしい。（市内、20代女性） アンコール「ラ・カンパネラ」嬉しかった。今後も楽しみなピアニスト。長久手でみられてよかった。お客様が少なかったのが少し残念。まだコロナ禍なので、1席空けの方が安心感があるし、ステージからの見た目も良いと思う。（市外、女性） とても良い演奏を聴けた。のびやかな音が印象的だった。（市外、60代男性）		
担当者コメント	全国7カ所で行われた公演で、中部圏では文化の家のみ開催。曲目がベートーヴェンとブラームスのピアノ・ソナタという渋めな選曲だったためか、集客に苦戦した。繊細さと大胆さを併せ持つ、とても若々しい演奏で、アンコールには「ラ・カンパネラ」を弾き、さわやかな笑顔とスタイルとが相まって、お客様は大満足の様子であった。		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	フレンズ企画Part43 クリスマス・コンサート ～マリンバ&せともの打楽器&ハンドパン&ギター～		
日時	令和3年12月1日（水）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	市民参画事業（提携）		
出演者	詩貴（マリンバ&せともの打楽器）、左合栞（パーカッション）、西田尚史（ハンドパン）、生田直基（ギター）		
公演内容	きよしこの夜、コーヒールンバ、レインダンス、アストリアス、クリスマス・メドレー、リベルタンゴ		
入場者数	108	席設定	136
チケット料金	（前売）フレンズ会員800円、一般1,000円 （当日）一般1,000円		
支出			提携事業のため支出なし
		計	0円
収入			提携事業のため収入なし
		計	0円
回収率			
アンケート結果	<p>コンサートの堅苦しさもなく、寛ぎの時間で楽しかった。またの機会を待っている。（市内、80代男性）</p> <p>たくさんの茶碗に水を入れ音階を揃えるのは大変そう。ハンドパンは初めてだが癒やされた。（70代女性）</p> <p>せともの打楽器であそこまで音が出るとは驚き。楽しいコンサートだった。（70代女性）</p>		
担当者コメント	<p>フレンズ恒例の舞踊室で開催してきたクリスマス企画であるが、コロナウイルス感染症対策のため、風のホールで1席空けで開催し、地元瀬戸市のせともので楽器を開発しプロモーションを行う団体を立ちあげた詩貴率いるユニットを招いた。せともの打楽器やハンドパンは初めてというお客様も多かったが、丁寧な楽器解説もあり、柔らかい音色に癒やされたと好評であった。なお、夏のフレンズ企画に引き続き、当日の運営スタッフの人数は最小限とし、クリスマス企画恒例の立食形式での出演者との交流会や抽選会は中止とした。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 2021ジョイントフェスティバルベイビーシアター「まるまる」

日時 令和3年12月4日（土） ①11:00②14:00開演

場所 長久手市文化の家 風のホール

事業の種類 鑑賞・体験事業

出演者 川原 美奈子、朝比奈 緑

公演内容 ベイビーシアター「まるまる」

入場者数	19組/20組（大人21人、子ども19人）	席設定 各10組	入場率 95.0%
------	-----------------------	----------	-----------

チケット料金	（前売）フレンズ会員・一般 一組2,000円
	（当日）フレンズ会員・一般 一組2,000円

支 出	委託費	274,725円
	チラシ印刷費	6,310円
	計	281,035円

収 入	入場料	40,000円
	計	40,000円

回 収 率	14.6%
-------	-------

アンケート結果

小さな子どもの為の公演はなかなか無いので、とてもよい機会になった。（市内、40代女性）
 子どもが公演中寝ていたが、終盤頃に起きた後、特別に一部の公演内容を体験させて頂きとても嬉しかった。（市外、40代男性）
 人見知りで不安だったが、「まる」を主題とした、まるで絵本を読んでいるような楽しさがあり、子どももとてもじっと見入っていた。小物等、子どもの興味をひくモノが多く、作り込んでいるのが伝わった。（市外、40代女性）

担当者コメント

乳幼児期に知覚の発達を促すためのベイビーシアターをお届けした。泣きじゃくっていた子どもが食い入るように公演を見ていた姿に驚いた。出演者によると、空間にゆっくりと慣れさせることが大切。その上で演技をすることで、より効果が高まるという。今後もこのような演者による、質の高いベイビーシアターを提供していきたいと思う。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	愛知県立芸術大学オペラ「イドメネオ」		
日時	令和3年12月11日(土)、12日(日)	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業（提携）		
出演者	<p>【12/11(土)】大久保亮（イドメネオ）、谷中弦（イダマンテ）、清水万理子（イリア）、岩住久未（エレットラ）、田中潤（アルバーチェ・大司祭・声）</p> <p>【12/12(日)】住原春輝（イドメネオ）、寺島大雄（イドメネオ）、服部加奈（イダマンテ）、小島万里奈（イリア）、岡菜月（イリア）、土井里佳子（エレットラ）、柴田千沙都（エレットラ）、田中潤（アルバーチェ・大司祭・声）</p> <p>愛知県立芸術大学管弦楽団 佐藤正浩（指揮）</p>		
公演内容	歌劇「イドメネオ」（モーツァルト）		
入場者数	506	席設定 500	入場率 99.6%
チケット料金	(前売) 1,500円 (当日) 1,500円		
支出	【委託費】	提携事業のため支出なし	
		計	0円
収入	【入場料】	提携事業のため収入なし	
		計	0円
回収率			
アンケート結果	<p>ステージ上のアクリル板をオリや鏡、ドアとして工夫して使用しており、とても良い考えだなと感じた。（県内、30代男性）</p> <p>最前列では字幕スーパーをみあげる感じで、バルコニーのコーラス隊も、横を向いて見上げる感じで大変だった。席は移動出来ないで字幕スーパーを後方、下方にしたほうが良い。（県内、40代男性）</p> <p>昨年度は合唱がなかったが、やはり合唱団の歌声はアツイ！心にぐっときた。（市内、30代女性）</p>		
担当者コメント	<p>コロナ禍の中、文化の家の可動式舞台を工夫して使い演出された舞台となった。昨年度は参加できなかったオーケストラや合唱もバルコニーを使うなど、蜜を避けた形で演奏した。3時間に及ぶ演目だったが、朗々と聞かせるアリアがすばらしく、オペラセリアの魅力にあふれた公演だった。観客からは場所によって字幕が見にくいなどの声もあったが、学生たちの熱演に感動したという感想が多く聞かれた。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	日東工業presents 吹奏楽フェスティバル in Nagakute		
日時	令和3年12月19日（日）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業(提携)		
出演者	長久手中学校、長久手南中学校、長久手北中学校、長久手高等学校、栄徳高等学校、吹奏楽団響		
公演内容	長久手北中学校「Advance March」ほか2曲、長久手中学校「カイト」ほか1曲、長久手南中学校「Under The Sea」ほか1曲、栄徳高校「セドナ」ほか2曲、長久手高校「宝島」ほか1曲、吹奏楽団響「夜に駆ける」ほか2曲		
入場者数	無観客配信のみ（1251人視聴）		
支出	【委託費】	提携事業のため支出なし	
	計	0円	
収入	【入場料】	提携事業のため収入なし	
	計	0円	
回収率	—		
アンケート結果	<p>家に居ながら見ることができよかったが、音がよくなかった。（視聴者）</p> <p>配信があるのはありがたいが、音がよくなかった。大きくなったり小さくなったりした。（視聴者）</p> <p>部長、副部長にインタビューがあり、広く知ってもらえる機会になりよかった。（教員）</p> <p>他の学校の演奏をリハーサルで聴くことができたのがよかった。（出演者）</p> <p>みんなで練習した成果を発揮することができた。（出演者）</p>		
担当者コメント	<p>市内の吹奏楽団体が一同に会する吹奏楽フェスティバル。例年各団体の演奏と出演者全員250名ほどによる合同演奏を届けてきた。今年度は、感染症対策のため、合同演奏を中止し、無観客公演での関係者向け配信のみを行う形となった。配信を主軸においたことでこれまでホールに入りきらなかった出演者の家族や、出演者の遠方の親族や友人も、公演を視聴でき、新たな可能性を感じる公演となった。学生同士が互いの練習の成果を見る機会となり、社会人で演奏活動をしている大人と取り組む事業としても非常に貴重な機会となっている。日東工業によるバックアップあつての事業となり、今後も協力を継続していただけるように関係を深めていきたい。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	Memorial Composers3 フルーツで聴くサン＝サーンス		
日時	令和3年12月22日（水）	19時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	細川杏子（フルート）、橋本岳人（フルート）、江川智沙穂（ピアノ）、岡田麗紗子（オーボエ）、安田莉子（クラリネット）		
公演内容	序奏とロンド・カプリチオーソ（C.サン＝サーンス） ロマンソ（C.サン＝サーンス） ハンガリー小二重奏曲（F.ドップラー） フルーツとピアノのためのソナタ（團伊玖磨） デンマークとロシアの旋律による奇想曲（C.サン＝サーンス）		
入場者数	124	席設定 198	入場率 61.4%
チケット料金	（前売）フレンズ会員1,800円、一般2,000円 （当日）一般2,000円		
支 出	委託費	200,000円	
	印刷製本費	23,163円	
	ピアノ調律費	23,100円	
	著作権使用料	3,102円	
	計	246,263円	
収 入	入場料	243,000円	
	計	243,000円	
回 収 率			121.5%
アンケート結果	滅多に見ることができないメンバーでの演奏だったので特別感がありました（市外、20代女性） MEMORIAL COMPOSERという企画はとても良いと思う（市外、50代男性） 歌のMemorial Composersもいつか楽しみにしています（市内、20代女性）		
担当者コメント	2021年にアニバーサリーを迎える作曲家にスポットをあてた企画第3弾。没後100年を迎えたサン＝サーンスに焦点をあて、フルートをメインに構成した。前年度まで創造スタッフだった細川杏子氏をはじめ、地元にはゆかりのある演奏家が出演した。知名度の低い曲が多かったが、観客からの選曲への満足度も高く、掘り出し物の楽曲に出会う機会が提供できた。支出をカバーできる入場料は得られたが、吹奏楽連盟のアンサンブルコンテストと時期が重なり集客に苦労したため、事前のリサーチが必要であった。		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	文化と地域デザイン講座～長久手市編～		
日時	令和4年1月7日(金)	18時30分 開演	
場所	長久手市文化の家 光のホール		
事業の種類	アートのまち創造事業		
出演者	松本茂章（聞き手・コーディネーター） 鬼木和浩（ゲスト）		
公演内容	<p>観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等の幅広い各分野との横断的な文化芸術の施策を紹介するとともに、専門家や先進地である自治体からゲストを招く講座シリーズの3回目。</p> <p>テーマ：未来の公立文化施設はどうなっていく？/岐路に立つ指定管理者制度</p> <p>ゲスト：鬼木和浩（横浜市文化振興課長（主任調査員））</p>		
入場者数	来場：12 オンラインライブ 視聴：52	席設定	40
支出	【委託費】	50,000円	
	計	50,000円	
収入	【入場料】	無料公演のため収入なし	
	計	0円	
回収率			0.0%
アンケート結果	<p>今後も定期的に見直したい内容であった。（オンライン・宮城県石巻市 30代男性）</p> <p>なくてはならない文化の家を市民や行政に広め、認識していかないといけないとあらためて感じた。市民と行政が深く考えなければいけないテーマだと思う。（現地・市内 50代女性）</p>		
成果	<p>指定管理者制度を積極的に導入している自治体の中でも主任調査員を配置している横浜市の指定管理者制度の考え方、制度導入において工夫している点について取り上げた、指定管理導入の際の手本となるような講座であった。</p> <p>コーディネーターが指定管理者制度について行政・財団・民間それぞれの視点から質問をしたことで、直営と指定管理それぞれのメリットデメリットが浮かび上がった。</p>		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 アンデゴハンダン展

日時 令和4年1月21日（金）から28日（金）まで

場所 長久手市文化の家 展示室

事業の種類 市民参画事業

出演者 市内在住・在勤・在学の人（年齢・国籍問わず）

公演内容 長久手市在住、在勤、在学の方を対象にテーマを設けず、絵画（油彩画・水彩画・アクリル画・日本画等）を募集。
作品の優劣をつけず、自由出品・無記名・無審査・無賞で、応募のあった作品を展示し、来場者からの投票により反響のあった作品に記念品を贈呈する。

入場者数 266(投票数198)

支 出	委託費	59,117円
	キュレーション謝礼	50,000円
	チラシ印刷費	11,094円
	記念品	35,000円
	計	155,211円

収 入	入場料	入場無料のため収入なし
	計	0円

回収率

アンケート結果 とてもレベルの高い展覧会だと思った。次回もぜひ観に来たい。（市内、10代女性）
子どもから大人までテーマが自由が意外とおもしろかった。個展やグループ展とは違ったバラエティ感が良い。（市内、20代）
大人も子どももアーティストのキャッチコピーどおりで見えてとても楽しかった。今後も続けてほしい。（市内、10代）

担当者コメント 絵画コンクールに代わる事業として、市民を中心に自由出品の展覧会を初開催した。応募作品は想定のお半ほどであったが、子供から大人まで様々な絵画が集まり、7日間で250人を超える来場者があった。
投票テーマを設け、来場者にも参加してもらう新しい形の展覧会を開催でき、市民に芸術を身近に感じ、芸術活動に参加したいという気持ちが高まったと感じている。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 美術系創造スタッフ2人展「創造しいしごと」

日時 2022/2/8(水) -2/18 (金)

場所 長久手市文化の家 展示室

事業の種類 アートのまち創造事業

出演者 美術系創造スタッフ 小林大地、小西祐矢

公演内容 美術系創造スタッフによる作品展示。創造スタッフ劇場「少女とカラクリ」に使用したカラクリ「ルーチェ」を中心とした劇中使用制作物や台本、絵コンテ等の展示。おんぱくで制作した衣装や小道具の展示。また2人それぞれの個人作品の一部を展示した。

入場者数 545

支 出		委託費	0円
-----	--	-----	----

		計	0円
--	--	---	----

収 入		入場料	0円
-----	--	-----	----

		計	0円
--	--	---	----

回収率

-

アンケート結果 現在7才の息子が0才の時から文化の家を楽しんできたことを思い出した。(市内40代女性)
 いろいろな写真やお話がおもしろかった、ダンボールでできるんだと思った。(市内9歳女性)
 とても楽しい時間となりました。それぞれの完成度が高くて、おどろき。(50代男性)

担当者
コメント

コロナ禍にもかかわらず、とてもたくさんのお客様に楽しんでいただくことができた。また今年度を最後に8年間美術系創造スタッフとして活動した小林大地さんが卒業するため、集大成的にこれまでの8年間を振り返る展示内容で、来場者からは懐かしいなどの声もあり、文化の家が住民のみなさんと共に歩んでいることを実感できる展示となった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 午後の佇み③歌曲で紡ぐ春への祈り 2

日時 令和4年2月9日（水） 14時00分開演

場所 長久手市文化の家 森のホール

事業の種類 鑑賞・体験事業

出演者 本田美香（ソプラノ）、丸尾祐嗣（ピアノ）、八木健史（ホルン）

公演内容 うぐひす（早坂文雄）、早春賦+春へのあこがれ（中田章+モーツァルト）、「野ばら」（シューベルト）、野薔薇（山田耕筰）、遠い国からの歌（ベートーヴェン）、あなたを愛している（ベートーヴェン）、ピアノソナタ第5番（ベートーヴェン）、水の上にて歌えり（シューベルト）、アルプスの狩人（シューベルト）、流れの上で（シューベルト）、アンコール：万霊節の祈り（シューベルト）、北の国から（さだまさし）

入場者数 121

チケット料金 (前売) 一般・フレンズ会員1,000円
(当日) 一般1,000円

支 出	委託費	120,000円
	印刷費	14,070円
	ピアノ調律費	22,000円
	計	156,000円

収 入	入場料	122,000円
-----	-----	----------

文化庁補助金（予定）

	計	122,000円
--	---	----------

回 収 率		78%
-------	--	-----

アンケート結果 大変上質な演奏会だった。西洋と日本の歌曲の対比、ベートーベンとシューベルトの歌曲の対比など選曲の妙な秀逸！大いに楽しませてもらった。（市外、60代男性）
今日の演奏会はプログラムも良く、ストーリーがあって楽しい！本田さんの声も素晴らしい！歌曲にぴったりで美しい声だった。アンコール2曲泣けた！（市内、70代女性）
外は少し暖かな陽差しを感じる日にコンサートに来てよかった。流れるピアノの音色、丸いやわらかなホルンの音色、美しい歌声が会場にあふれ融合にいやされた。（市外、40代女性）

担当者コメント 昨年好評だった歌曲シリーズの第二弾。今回も、テーマは「春を待ちわびて」であったが、冒頭にバルコニーからアカペラで歌うなど、演出にも凝り、数曲ではあるがホルン奏者も加わり、聴き馴染みのない曲でも、親しみやすく暖かい演目となった。さらに曲間のMCを、影アナでDJスタイルとして行い、観客に気楽に楽しんでもらおうという、午後の佇みの客層にあった工夫が施されていた。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	JAZZ長久手～やっぱりジャズはイイ！		
日時	令和4年2月18日（金）	19時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	大西順子（ピアノ）、井上陽介（ベース）、大儀見元（パーカッション）、吉良創太（ドラム）		
公演内容	Harvest! Harvest!（作曲：大西順子）、Charlie The Wizard（作曲：大西順子）、Un Dia de Cielo Azul(詩:石塚隆充、大儀見元/作曲：大西順子)、Ground Swell（作曲：大西順子）、Tridacna Talk（作曲：大儀見元）、High Tide（作曲：大西順子）、Low Tide（作曲：大西順子）、Kippy（作曲：Dollar Brand）、Wind Rose（作曲：大西順子）、<ENC>Fool on the Hill /（作曲：the beatles）、It's a Fine Day（作曲：大西順子）		
入場者数	304	席設定 327	入場率 93.0%
チケット料金	（前売）一般3,000円、学生1,500円 （当日）一般3,000円、学生1,500円		
支出			1,000,000円
	委託費		1,000,000円
	【委託料】音響委託料		250,800円
	【委託料】看板作成委託料		44,000円
	【役務費】ピアノ調律料		53,900円
	【印刷製本費】チラシ印刷費		16,363円
	【使用料】著作権使用料		19,332円
	計		1,384,395円
収入	入場料		957,000円
	計		957,000円
回収率			69.1%
アンケート結果	<p>やはりJAZZはLIVEだ！大西さんのパワフルなピアノに力をいただいた。（市内、60代男性）</p> <p>大西さんのライブは聞くたびに变化していくから、刺激的。トリオもよいが、大儀見さんが触媒となってさらに音に幅が出た。（市外、60代男性）</p> <p>セッションの空気感が面白くてあちこちに目を移動させた。音が体に響いてこれだよなって思った。（市内、40代女性）</p>		
担当者コメント	<p>本格的なジャズが気軽に楽しめる公演として好評を得てきたJAZZ長久手。今回は10周年記念公演として、大西順子率いるカルテットが出演。チケットは公演2週間前に完売となった。力強さと繊細さを兼ね備えた大西順子のピアノに重量感のある井上陽介のベース、安定したリズムと細かいフィルを切り込む吉良創太のドラム、そして、パーカッションの大儀見元が音楽に表情とユーモアを加え、耳で聴くだけではなく、身体でリズムや鼓動を感じるような音楽に圧倒され、あっという間の2時間となった。10回という節目を盛大に祝い、新たな時代への幕開けを予感させる公演となった。</p>		
備考	<p>チケットは、客席を100%収容・50%収容エリアの2つに分け、販売した。また、当日は、100%収容エリアを購入した方は、2階席（1席空き）への席移動を可とし、4名が移動し</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	ながくて寄席 林家たい平独演会		
日時	令和4年2月23日（水）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業（提携）		
出演者	林家たい平、林家あずみ（三味線漫談）		
公演内容	長短 今様替り目		
入場者数	305	席設定 531	入場率 56.8%
チケット料金	(前売) フレンズ会員3,400円、一般3,600円 (当日) 4,000円		
支出	提携事業のため支出なし		
		計	0円
収入	提携事業のため収入なし		
		計	0円
アンケート結果	<p>久し振りに大笑い楽しかった！新作や古典を下敷きに現代を風刺（市内、女性） 何十年ぶりに目から涙を出して笑った。笑うことの大切さを教えてもらった。感動した。芸人だ。</p> <p>（市外、男性） このご時世で暗い話題ばかりのところ決断し開催してもらえてよかった。あずみさんもさわやかでいい。（市内、60代、女性）</p>		
担当者コメント	<p>収容率100%の座席で発売したが、その後感染者が急増し、まん延防止等重点措置発令中での公演となった。公演時間100分を予定していたが、会場の雰囲気がとても良く20分以上延長した。たい平さんも反応の良さに、とても喜んで会ができたと言っていた。感染拡大で客足は伸びなかったが、出演者も観客も明るい気持ちになった。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	小学校であーと(北小学校)		
日時	令和4年2月24日(木)		
場所	長久手市立北小学校		
事業の種類	普及・啓発事業		
出演者	前田雄輝(ヴァイオリン)、岡田直人(ヴァイオリン)、園部真秀(ヴィオラ)、溝口琴音(チェロ)		
公演内容	フィガロの結婚(モーツァルト)、愛の挨拶(エルガー)、イタリアのハロルドより(ベルリオーズ)、チェロソナタNo.1 1楽章より(ブラームス)、弦楽四重奏曲第4番 2楽章、第4楽章(ベートーヴェン)		
入場者数	189	(北小学校4年生5クラスが対象)	
支出		委託費	60,000円
		計	60,000円
収入	無料公演のため入場料収入なし		0円
		計	0円
回収率			0.0%
アンケート結果	<p>CDで聞いたときよりも音が綺麗でびっくりした。楽しく授業を受けることができた。(児童)</p> <p>弦楽四重奏曲の残りの曲が気になる。(児童)</p> <p>音楽の良さがとてもわかった。夢をおいかけ続けていて、すごいなあと思った。(児童)</p> <p>コロナ禍以前のように、昼の時間等に廊下を演奏しながら回る機会があれば嬉しい。(教員)</p>		
担当者コメント	<p>感染症対策のため、音楽室ではなく広い体育館で実施した。同時に最大3クラスがアウトリーチ授業を受けたため、アーティストと児童との距離があり、間近で感じられる良さが出せるか心配された。スライドを使用し、子どもたちの関心をひきつける構成ができ、子どもたちから好評を得た。出演者からも「自身が成長できた」と感想が大きく、アーティスト育成の場として成功したとみられる。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	長久手市市制施行10周年記念事業 近藤薫の音楽哲学 Nature-Centered自然、人、音楽		
日時	令和4年3月6日（日）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	近藤薫（ヴァイオリン）、森夕希子（ピアノ）、時高直子（司会）		
公演内容	第1部：講演会 第2部：コンサート 《4つのロマンティックな小品》より、第1曲「カヴァティーナ」（A.ドヴォルザーク） ヴァイオリンとピアノのためのソナタ作品18より、第1楽章（R.シュトラウス） ヴァイオリンとピアノのためのソナタ第4番 BWV1017より、第1楽章「シチリアーノ」 《なつかしい土地の思い出》より、第3曲「メロディ」（P.I.チャイコフスキー） ヴァイオリンとピアノのためのソナタ第3番（J.ブラームス） アンコール：タイスの瞑想曲（J.マスネ）		
入場者数	161	席設定 182	入場率 86.6%
チケット料金	（前売）フレンズ会員1,800円、一般2,000円、学生1,500円 （当日）一般2,000円、学生1,500円		
支出		委託費	496,000円
		印刷製本費	27,722円
		ピアノ調律費	33,000円
		計	556,722円
収入		入場料	292,300円
		計	292,300円
回収率			58.9%
アンケート結果	人間、自然、芸術、生きる力、空海の求めたもの、脳の根幹に残る感性、これらの関係を先端技術として研究されている先生に感銘した。（市内、70代男性） 近藤先生は単なる演奏者ではない。宗教的な教養を身につけた方であると感じた。（県内、男性） 心身にしみこむ様な素晴らしい演奏だった。人、自然、音楽（芸術）、科学先行の世界に芸術がもっともっと融合していくことを期待している。（県内、50代女性）		
担当者コメント	近藤薫氏は、“東京フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスター”と“東京大学先端科学技術研究センター先端アート分野特任教授”という異色の肩書きを併せ持つアーティスト。1部に近藤氏が理念とする自然主義に関する講演、2部に演奏という珍しい公演形式で開催した。近藤氏の著書の販売し、用意した40部が即完売となった。来場者が講演内容に共感した結果だと思われる。		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 小学校であーと(市が洞小学校)

日時 令和4年3月11日(金)

場所 長久手市立市が洞小学校

事業の種類 普及・啓発事業

出演者 弓立翔哉(パーカッション)、小田智之(ピアノ・作曲)

公演内容 Talking
トライアングル
チャイムのメロディーを利用したオリジナル曲 など

入場者数 190 (市が洞小学校4年生5クラスが対象)

支 出		委託費	60,000円
		計	60,000円

収 入	無料公演のため入場料なし		0円
	計		0円

回収率 0.0%

アンケート結果
 学校のチャイムをここまで凄い曲にできて、凄いと思った。(児童)
 文化の家に行って見たいと思った。(児童)
 私はピアノを習っているから、もっとがんばって練習をしてあんな風に弾きたい。(児童)
 馴染みのある音をアレンジしたり、知っている曲が流れたりしていて、楽しめた。(教員)

担当者
コメント
 音楽系創造スタッフの2人(弓立・小田)により実施。創造スタッフとしてこれまでに子どもを対象としたコンサートを多く実施してきた経験値から、子どもたちの関心を十分に引く内容で実施することができた。感染症対策のため、音楽室ではなく広い体育館で実施し、一度に2クラス以上に実施した。大きなスクリーンに映像を映すなど、体育館という環境を生かした内容で子どもたちは体を揺らしながら楽しむことができた。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	アートスクール戯曲セミナー優秀短編上演会		
日時	令和4年3月12日（土）	19時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	空沢しんか（劇団ジャブジャブサーキット）、青木謙樹（星の女子さん）、森本涼平（タツノオトシドコロ）、高橋ケンヂ（劇団ジャブジャブサーキット）、黒川ゆかり（受講生）、橋本恒司（受講生/劇団天白月夜）、すぎうらまこ（星の女子さん）、渡山博崇（星の女子さん）、太田竜次郎（劇団エンジン）、林優花（劇団ジャブジャブサーキット）、中川敦暉（愛知学院大学演劇部”鯨”）、二瓶翔輔（フリー）、石川朋未（受講生）		
公演内容	石川朋未『待ち合わせの場所』 台越竜太郎『ドメスティック・ディスタンス』 池田春花『真昼の月は鏡に映るか』（戯セミ2019リベンジ作品） 田村優太『地獄の職場』（戯セミ2019リベンジ作品）		
入場者数	70	席設定 150	入場率 44.9%
支出	委託費		500,000円
	計		500,000円
収入	無料公演のため入場料収入なし		0円
	計		0円
回収率	0.0%		

アンケート結果 時間もちょうどよくて無料で観れるのは有難すぎ！また行きたい。（市内、30代女性）
4作品、バラエティーに富んで個性あふれる作品ばかりで面白かったです。（市外、50代男性）
コロナ禍ですが実際にライブで見ることができてよかったです。（市内、50代女性）

担当者コメント
戯曲セミナーの参加者による完成作品の発表会。セミナーを受講してきたみなさんにより、非常にレベルの高い作品が制作できた。セミナー参加者とは思えない戯曲に仕上がっており、講座が活かされていた。来場者からも非常に評価の高いコメントが多く、無料ではもったいないという声すら聞くことができた。今後は若い世代にもたくさん興味をもってもらえるような仕掛けをしていきたい。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	小学校であーと(長久手小学校)		
日時	令和4年3月16日(水)		
場所	長久手市立長久手小学校		
事業の種類	普及・啓発事業		
出演者	Wind quintet sola 村松和奈(オーボエ)、尾上一葉(フルート)、滑川敬一(クラリネット)、安間花鷄(ファゴット)、伊藤歩美(ホルン)		
公演内容	愛の挨拶(エルガー) 山の音楽家じゅんぱん協奏曲(石川亮太) 3つの小品より第1楽章(イベール) ユーモレスク(ツェムリンスキー)		
入場者数	98 (長久手小学校4年生3クラスが対象)		
支出	委託費	100,000円	
	計	100,000円	
収入	無料公演のため入場料収入なし		0円
	計		0円
回収率	0.0%		
アンケート結果	<p>楽器の個性を使って演奏していて、タイミングを合わせていた。(児童)</p> <p>全員の楽器も興味をもったし、「sola」のグループもすごく興味をもちました。(児童)</p> <p>息を合わせて演奏していて、チームプレイをしているなど感じました。(児童)</p> <p>CDなどでは感じることはできない迫力、感動を味わうことができました。(教員)</p>		
担当者コメント	<p>今年度の小学校であーとの中で、長久手小学校のみが音楽室で実施できた。出演した県芸大学生グループの「wind Quintet sola」は、実施に至るまで非常に多くの練習やグループ内及び文化の家スタッフとの協議を経て、本番直前まで改良を重ねた。実施後に子どもたちからお手紙をもらうなど、短い時間で子どもたちと信頼関係を築くことができた。出演者自身も大きなやりがいを感じたようだ。これからアウトリーチに取り組む若きアーティストとなっていくことを期待したい。</p>		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 シネマで逢いましょう「ねことじいちゃん」

日時 令和4年3月19日（土） 10:00～、14:00～

場所 長久手市文化の家 光のホール

事業の種類 市民参画事業

出演者 立川志の輔、柴咲コウ、柄本佑、ほか

公演内容 ねことじいちゃん

入場者数 69 席設定 80 入場率 86.3%

チケット料金 （前売）500
（当日）500

支 出		委託費	165,800円
		印刷製本費	8,429円
		計	174,229円

収 入		入場料	34,500円
		計	34,500円

回収率 20.8%

アンケート結果 死が近くなった自分。人生の様々なシーンを思い出し、涙が出た。皆に勧めたい映画だった。（市内、80代女性）
感動的だった。映像も音楽も素敵で、我が身の今後についても考えさせられた。（市外、80代女性）
登場人物と猫がよく描かれていて、心温まる映画だった。猫が好きになりそうだ。（市外、70代男性）

担当者
コメント

年に2回行う有料映画会。今回は、コロナ禍で殺伐として
いる世の中で、観客にほっこりしていただきたいという思
いから、シネマ倶楽部が試写を重ねて作品を選定した。
「岩合監督」と「ネコ」というキーワードで、無料映画会
「シネマの楽しみ」に参加していない客層が多く集まっ
た。また、保護ネコ団体「にゃんこサポート」に協力して
もらい、保護活動についての説明会を行った。シネマ倶楽部
の狙い通り、温かい気持ちになったという感想が多く聞か
れた。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	石川貴憲サクソフォンリサイタル		
日時	令和4年3月25日（金）	19時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	石川貴憲（サクソ）（フランチャイズアーティスト）、丸尾祐嗣（ピアノ）、菅原拓馬（ピアノ）、平光真彌（ヴァイオリン）、牧野葵（ヴァイオリン）、新谷歌（ヴィオラ）、幸田有哉（チェロ）、わくわくキャラバンサクソ隊(三輪一登、大嶋漢、川地立真)		
公演内容	レジェンド（フローラン・シュミット）、ホットソナタ（E.シュルホフ）、サクソフォン四重奏のための「小四重奏曲」（ジャン・フランセ）、サクソフォン五重奏曲作品34（アドルフ・ブッシュ）、アンコール：チャップリン／スマイル		
入場者数	117	席設定 300	入場率 38.2%
チケット料金	（前売）一般・フレンズ会員2,500円、学生1,000円 （当日）一般・フレンズ会員2,500円、学生1,000円		
支出		委託費	450,000円
		印刷製本費	35,280円
		ピアノ調律費	23,100円
		著作権料	4,415円
		計	512,795円
収入		入場料	195,500円
		計	195,500円
回収率			43.4%
アンケート結果	<p>とても素晴らしい演奏でした。サクソフォンの魅力が満載だった。（市外、50代女性）</p> <p>石川さんを通した`つながり`を感じるとてもステキなコンサートだった。（市内、40代女性）</p> <p>四重奏楽しかったです。アンコールはとても楽しい企画だった。（市内、80代男性）</p> <p>どの出演者の方に対してもファンになりました！！（市内、30代女性）</p>		
担当者コメント	<p>石川貴憲氏は、創造スタッフとして4年、フランチャイズアーティストとして3年、計7年にわたり文化の家で活動してきたサクソフォン奏者。石川氏の集大成コンサートにふさわしい濃厚な内容のコンサートとなった。石川氏が構築してきた人間関係や人柄が表出された内容となった。共演者にもスポットを当て、石川氏を取り巻く人々の温かさが伝わった。演奏のレベルも非常に高く、アンケートからも満足度が高いコンサートとなったことがうかがえた。集客面では、課題が残ることとなった。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 朗読と音楽で紡ぐ名作シリーズ第3弾「注文の多い料理店」

日時 令和4年3月26日（土） 11時00分開演

場所 長久手市文化の家 光のホール

事業の種類 自主創造活動事業

出演者 文化の家創造スタッフ
大脇ばんだ（朗読）、弓立翔哉（打楽器）、小田智之（作曲・ピアノ）

公演内容 宮沢賢治作「注文の多い料理店」

入場者数 69 席設定 80 入場率 86.3%

チケット料金 (前売) 500
(当日) 500

支 出	委託費	0円
	計	0円

収 入	入場料	39,500円
	計	39,500円

回収率

企画のねらいが見事に達成されたと思った。お話の不思議さとすごさがよく伝わってきて楽しめた。

(市内・50代女性)

アンケート結果 音楽演奏はファンタジーで決して話が邪魔してなくて素晴らしい。朗読は「語り」と「台詞」のトーンが同じに聞こえメリハリが無かったように思えた。(20代、市内男性)

自分で本を読んだ時より深い感情をもてる。音楽の力も素晴らしいと気づけた。(50代、市内男性)

担当者
コメント

昨年度から続く朗読と音楽で紡ぐ名作シリーズ。前回に続きチケットは完売し、オンライン配信を実施した。場面が切り替わる部分が少なく、公演時間が30分程度と短かくなった。音楽による世界観と朗読による現実感があり、出演者との距離感も近いことから、物語に没入しやすかったという声が多かった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	長久手市合唱団 ニューセンチュリーコーラスNagakute		
日時	令和4年3月27日（日）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業（提携）		
出演者	山本高栄（指揮）、野々山雅子（ピアノ） 長久手市合唱団ニューセンチュリーコーラスNagakute（合唱）		
公演内容	混声のための童謡名歌集「日本の四季めぐり」 混声合唱のための「宮崎駿アニメ映画音楽集」	（編曲者：名田 綾子） （編曲者：信長 貴富）	
入場者数	267	席設定 300	入場率 89.0%
支出	提携事業のため支出なし		
		計	0円
収入	入場料 提携事業のため支出なし		
		計	0円
アンケート結果	コロナ禍での演奏会は練習等大変だったと思う。でも素晴らしい歌声が聞けリフレッシュできた。 四季めぐりは、知っている歌ばかりで心の中で一緒に歌った。（市内、70代女性） マスクのせいでピアノシモがこもってきこえたのが残念だった。短いコンサートだったが楽しめた。持続することの大変さを感じた。（市内、70代男性） 歌はもちろん、みなさまが楽しそうに歌われるお姿を見て勇気もらった。（市外、30代男性）		
担当者コメント	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止となったため、2年ぶりの開催となった。合唱練習が出来ない期間が続き、団員数も半分に減少した。制限下での開催であったが、来場者が親しみやすい選曲をし、来場者も温かい気持ちで聴いていた。		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 クレーシガナーナキッズダンス隊第9期生発表会

日時 令和4年4月2日（土） 11時00分開演

場所 長久手市文化の家 風のホール

事業の種類 鑑賞・体験事業（提携） 配信 なし

出演者 クレーシガナーナキッズダンス隊

公演内容 クレーシガナーナ、チム・チム・チェリー、スーパーカリフラジリスティックエキスピアリドーション、LISTEN TO THE MUSIC、ともに、カイト、ONE

入場者数 131 席設定 160 入場率 79.9%

支出 提携事業のため支出なし
計 0円

収入 提携事業のため収入なし
計 0円

アンケート結果 すごくて自分もやってみたいと思った。（市内、男性9歳以下）
とっても感動してあたたかい気持ちになった。ステキなステージだった。（市外、女性50代）
前回より、更に素敵なステージだった。高学年の方たちはとてもかっこよくて感動した。公演料をとっていいと思う。（市内、女性20代）

担当者
コメント

長久手応援ソングを普及するための事業の一つ。キッズダンス隊は令和2年度の独立。保護者が運営し、文化芸術活動と子どもの健全育成を目指す活動をしている。今回の発表会は独立してから3回目となる。子どもたちの成長に合わせ、ダンスの精度が上がり、とても見応えのある内容となった。本発表会は長久手応援ソング「クレーシガナーナ」を広めることで、市に愛着を持っていただく機会となる事業であるため、今後も文化の家としては継続していきたい。



令和3年度シネマの楽しみ

期日	開演	名称	入場者
4/8(木)	10:00 14:00	或る夜の出来事	39 35
5/13(木)	10:00 14:00	自転車泥棒	33 27
6/10(木)	10:00 14:00	トロッコ	39 35
7/8(木)	10:00 14:00	市民ケーン	36 38
8/21(土)	10:00 14:00	有料上映「ワンダー君は太陽」	40 40
9/9(木)	10:00 14:00	西部戦線異状なし	39 29
10/14(木)	10:00 14:00	シェーン	37 32
11/11(木)	10:00 14:00	地獄門	36 38
12/9(木)	10:00 14:00	大いなる幻影	35 37
2022年 1/14(木)	10:00 14:00	レベッカ	36 35
2/10(木)	10:00 14:00	Little DJ～小さな恋の物語	27 28
3/19(土)	10:00 14:00	有料上映「ねことじいちゃん」	33 36

令和3年度 福祉事業（ふくしであーと） 事業報告

コロナ禍で社会から孤立してしまう福祉施設に対して、中庭やバルコニーを利用した訪問コンサートを行った。感染症対策で施設に立ち入らずに屋外で演奏を行った。福祉施設では外部者との交流を制限せざるを得ず、ボランティアや慰問などの機会が激減したため、この訪問コンサートは施設職員や施設利用者から非常に喜ばれ、演奏者との間に、信頼関係が生まれることとなった。

訪問施設鑑賞者：各回約30人（年間鑑賞者数約390人）

演奏者：石川貴憲（サクソ、フランチャイズアーティスト）、菅原拓馬（ピアノ・作曲）

弓立翔哉（パーカッション、創造スタッフ）、小田智之（ピアノ・作曲、創造スタッフ）

	日程	実施先の名称	サービス	運営母体
1	6月25日	ハモリー館・杜っと館	特別養護老人ホーム	社会福祉法人 愛知たいようの杜
2	7月2日	楽家晴	小規模多機能型居宅介護	有限会社ハートフルハウス
3	7月2日	ハモリー館・杜っと館	特別養護老人ホーム	社会福祉法人 愛知たいようの杜
4	10月29日	楽家晴	小規模多機能型居宅介護	有限会社ハートフルハウス
5	10月29日	楽居暮	住居型有料老人ホーム	有限会社ハートフルハウス
6	11月10日	ぼちぼち長屋	多世代共同住宅	社会福祉法人 愛知たいようの杜
7	11月11日	ゴジカラ村	デイサービス・ケアハウス	社会福祉法人 愛知たいようの杜
8	11月12日	嬉楽家	グループホーム	社会福祉法人 愛知たいようの杜
9	11月12日	ハモリー館・杜っと館	特別養護老人ホーム	社会福祉法人 愛知たいようの杜
10	11月26日	ハモリー館・杜っと館	特別養護老人ホーム	社会福祉法人 愛知たいようの杜
11	11月26日	楽家晴	小規模多機能型居宅介護	有限会社ハートフルハウス
12	12月4日	ほほえみの会（東小校区）	障がいのある方による余暇サロン	長久手市社会福祉協議会
13	12月17日	楽家晴	小規模多機能型居宅介護	有限会社ハートフルハウス



令和3年度 児童館等 音楽デリバリー事業 事業報告

市内児童館各所に音楽系創造スタッフが演奏に訪問し、児童館利用者にコンサートを提供した。子どもたちが音楽に触れる機会を増やし、未就学児にとっては初めての生演奏体験となることも少なくなかった。子育てで疲労した保護者にとっても子どもといっしょに楽しめるコンサートが息抜きの時間となり、長久手市で子育てをすることへの充実感につなげることができた。今年度より、舞踊系創造スタッフの林友里菜も事業に加わり、音楽に合わせてダンスを披露する場面も設けることができ、より広い芸術鑑賞の機会を創出することができた。

出演者：弓立翔哉（パーカッション 創造スタッフ）

小田智之（ピアノ・作曲 創造スタッフ）

林友里菜（コンテンポラリーダンス 創造スタッフ）

	日程	訪問場所	参加者数
1	7月14日	青少年児童センター	親子約20組
2	10月14日	上郷児童館	親子10組
3	10月14日	市が洞児童館	約30人
4	11月10日	アートケアチャイルド	約30人
5	11月11日	南児童館	親子10組
6	12月22日	西保育園	約30人

